

令和3年度 旭川荘厚生専門学校 学校自己評価

学校法人旭川荘
旭川キャンパス・吉井川キャンパス

I 学校自己評価の基本方針

(1) 目的

医療福祉人材を養成する専修学校として、教育の質の向上と学校運営の改善を目的とする。

(2) 評価項目及び評価手順等

私立専門学校等評価機構の専門学校等評価基準書に規定する評価項目に本学独自の評価項目を加え、各項目につき教職員が10段階評価を行い平均値を学校自己評価報告書(以下「報告書」という。)に記載する。記述項目は学校評価委員会(以下「委員会」という。)が語句等を整理する。

(3) 評価の実施

毎年3月に教職員が評価し、結果を委員会が取りまとめる。

(4) 評価結果

委員会は評価結果を踏まえ、教育活動の質の向上及び学校運営の改善に関する提言を取りまとめ、理事長に報告するものとする。

(5) 公表等

委員長は、評価結果を学校法人理事会・評議員会に報告し、承認を受けなければならない。また、理事会等で承認を受けた報告書をホームページ上で公開するものとする。

II 評価結果

教職員が10段階の自己評価を行った大項目(I~XI)ごとの平均値が次表である。

※評価基準	非常に適切(該当)で評価できる	10, 9, 8
	ますます適切(該当)で評価できる	7, 6
	やや不適切(非該当)で評価できない	5, 4
	非常に不適切(非該当)で全く評価できない	3, 2
	論外	1
		平均値 5.5

※集計方法

- ・小項目・・・各人の評価点の合計を回答人数で除算し、少数第3位を四捨五入した。
- ・大項目・・・小項目の平均を算出し、小数第3位を四捨五入した。

1) 大項目評価結果

項目	全体	旭川	吉井川
I 教育理念・目的	7.9(7.5)	○ 8.1(7.6)	7.1(7.1)
II 学校運営	7.5(7.4)	7.3(7.5)	○ 8.9(7.1)
III 教育活動	7.5(7.3)	7.6(7.4)	6.9(7.3)
IV 教育成果	7.6(7.8)	7.6(7.6)	○ 8.1(8.4)
V 学生支援	7.4(7.7)	7.4(7.8)	7.3(7.4)
VI 教育環境	■ 6.6(6.8)	■ 6.5(6.6)	7.2(7.5)
VII 学生募集	○ 8.1(7.9)	○ 8.1(8.1)	7.9(7.5)
VIII 財務	■ 6.9(6.9)	7.0(7.1)	■ 6.6(6.3)
IX 法令遵守	7.8(7.8)	7.8(7.8)	○ 8.1(7.4)
X 社会貢献	7.7(8.1)	7.8(8.2)	6.8(7.7)
XI 旭川荘との連携	7.2(7.3)	7.2(7.3)	7.2(7.5)

○：高評価 ■：低評価

()は前年度評価値

全体として特に評価が高かったのは「学生募集」(8.1)で、低い項目は「教育環境」(6.6)及び「財務」(6.9)であった。最高評価項目「学生募集」について、コロナ禍による高校訪問時の面談制限、県外からの入学者の減少、18歳人口の減少、大学進学希望者の増加、修学支援新制度の創設などの逆風の環境下で、一定数の学生確保ができたことへの評価と思われる。記述部分で旭川キャンパス学生への家賃補助、企画戦略会議提起事項への取組を求める記述があり、令和4年度での実現可能な戦略を探る必要がある。

一方、低評価項目「教育環境」「財務」について、この2項目は昨年度も6点台の評価にとどまっており、毎年低評価項目となっている。建物・設備・備品の老朽化が進み、備品更新が老朽化のスピードに追い付くことができていない。学生数の増加による収入増により、更新スピードは上がると思われるが、他の方法も検討しなければならない。

記述部分はこの教育環境に関する項目が最も多く、教職員が最も懸念している部分であると思われる。記載項目の中ですぐに実現可能なものもあるので、早めに対応策を検討すべきである。

キャンパス別にみると、旭川キャンパスは「教育理念・目的」「学生募集」が高評価(ともに8.1)で「教育環境」が低評価(6.5)となった。旭川キャンパスは建物、備品の老朽化が顕著で、このことが低評価に繋がっていると考えられる。さらに新型コロナウイルス感染対策で教室の温度管理が難しく、そのことが教育環境の低評価に拍車をかけたと思われる。

吉井川キャンパスでは「学校運営」(8.9)「教育成果」(8.1)「法令遵守」(8.1)が高評価となった。成績や進路の迷い、心身の体調管理について個別相談を実施し、相談室と連携しながら教育を進めてきた結果、退学者を1名も出さなかった。また、社会福祉法人旭川荘職員と連携しながら外国人留学生への教育を実施した。これらの教育活動が高評価に繋がったと考える。

2) 小項目評価結果

全体として「就職率の向上が図られているか」が8.7ポイントと最も高く、「学校の理念・目的・育成人材像は定められているか」が8.6ポイントで続いている。学校の理念、目的をしっかりと教職員が理解し、医療福祉の専門職の養成という結果を出したことによるもので、大いに評価できる。

一方、「中長期的に財務基盤が安定しているといえるか」が5.5ポイントと8年連続最低評価となり、旭川キャンパスでは5.4ポイントと、63項目中唯一平均値5.5を下回る結果となった。管理部門職員のみならず、教員間でも危機感がもたれており、全体の評価を押し下げていると考える。これは学院の長年の重要課題となっている。

また、「施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか」が6.0ポイントと低評価で、財務状況がこの結果と関連していると考えられる。施設・設備の数量基準を満たすことのみならず、その質の向上を図る必要がある。

(1) 教育理念・目的

評価項目	平均	旭川	吉井川
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	8.6	8.9	7.3
学校における職業教育その他の教育指導の特色が明確か	8.2	8.4	7.7
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	7.3	7.5	6.3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが広く周知されているか	7.2	7.4	6.3
各学科の教育目標、育成人材像は、関係業界のニーズに合致しているか	8.1	8.2	7.7

(2) 学校運営

評価項目	平均	旭川	吉井川
目的等に沿った運営方針が策定されているか	7.7	7.5	9.0
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	7.6	7.4	9.0
運営組織や意思決定機能は、規則等で明確化され有効に機能しているか	7.3	7.1	9.0
人事、給与に関する規程等は整備されているか	8.0	7.9	9.0
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	7.7	7.5	9.0
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	7.8	7.6	9.0
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	7.7	7.5	8.5
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	6.4	6.1	8.5

(3) 教育活動

評価項目	平均	旭川	吉井川
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	8.3	8.4	7.7
教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育目標や学習時間の確保	7.8	8.0	7.0
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	8.0	8.2	7.2

キャリア教育・実践教育の視点に立つカリキュラムや教育方法の工夫・開発	7.6	7.8	6.5
業界団体・関係施設等との連携によるカリキュラムの作成・見直しの実施	7.7	8.0	6.2
関連分野における実践的職業教育が体系的に位置づけられているか	8.0	8.1	7.3
授業評価の実施・評価体制はあるか	6.8	6.8	6.8
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	6.8	6.8	6.5
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	8.0	8.3	6.8
資格取得等に関する指導体制やカリキュラムの体系的な位置づけはあるか	8.2	8.2	8.0
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる教員を確保しているか	7.4	7.4	7.2
関連分野と連携し、優れた教員確保等のマネジメントが行われているか	6.8	6.9	6.5
先端的知識・技能等の修得や教員の資質向上のための取組が行われているか	6.9	6.9	6.5
職員の能力開発のための研修等が行われているか	6.9	7.1	6.0

(4) 教育成果

評価項目	平均	旭川	吉井川
就職率の向上が図られているか	8.7	8.7	8.8
資格取得率の向上が図られているか	8.4	8.5	7.8
退学率の低減が図られているか	7.3	7.0	8.8
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	7.1	6.9	8.2
卒業後のキャリア形成効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	6.7	6.7	6.8

(5) 学生支援

評価項目	平均	旭川	吉井川
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	8.1	8.0	8.5
学生相談に関する体制は整備されているか	8.0	8.1	7.5
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	7.7	7.6	8.3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	8.0	8.1	7.7
課外活動に対する支援体制は整備されているか	6.3	6.4	6.0
学生の生活環境への支援は行われているか	6.9	6.9	7.3
保護者と適切に連携しているか	7.9	8.0	7.5
卒業生への支援体制はあるか	7.0	7.1	6.3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	6.9	6.9	6.8
高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組を行っているか	7.0	7.0	6.7

(6) 教育環境

評価項目	平均	旭川	吉井川
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	6.0	5.8	7.3
実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な体制整備	6.9	6.8	7.4
防災体制は整備されているか	7.0	7.0	7.0

(7) 学生募集

評価項目	平均	旭川	吉井川
学生募集活動は、適正に行われているか	8.3	8.3	8.2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	7.7	7.8	7.6
学納金は妥当なものとなっているか	8.2	8.3	8.0

(8) 財務

評価項目	平均	旭川	吉井川
中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	5.5	5.4	6.0
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	6.9	7.1	6.3
財務について会計監査が適正に行われているか	7.6	7.8	7.0
財務情報公開の体制整備はできているか	7.5	7.7	7.0

(9) 法令遵守

評価項目	平均	旭川	吉井川
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	8.3	8.3	8.3
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	8.2	8.2	8.3
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	6.9	6.7	7.7
自己評価結果を公開しているか	7.9	7.9	8.0

(10) 社会貢献

評価項目	平均	旭川	吉井川
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	7.6	7.8	6.0
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	8.1	8.4	6.0
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	7.4	7.3	8.5

(11) 旭川荘との連携

評価項目	平均	旭川	吉井川
行事等においてお互い協力できたか	6.7	6.8	6.4
旭川荘と連携した教育活動ができたか	8.0	8.2	7.1
人事交流を行っているか	7.3	7.3	7.1
旭川荘への就職希望者はいるか	6.8	6.5	8.0